

## いながき昭義プロフィール

昭和47年6月10日 四日市市東坂部町生まれ（現在40歳）  
 大池中学校・四日市高等学校・立教大学法学部卒業  
 平成7年4月 株式会社三重銀行入行（富田支店に配属）  
 平成10年8月 株式会社三重銀行退社 次世代のために政治活動開始  
 平成11年4月 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）  
 学習塾・パソコン教室などを立ち上げ4年間生活。  
 NPO法人三重県フリーマーケット協会設立などたくさんのNPO活動に携わる。  
 平成15年4月 三重県議会議員選挙 初当選（30歳）最年少  
 平成19年4月 三重県議会議員選挙 二期連続当選  
 平成23年4月 三重県議会議員選挙 三期連続当選  
 政策防災常任委員会委員長、NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会委員長、  
 四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）等を歴任  
**【現在】**  
 県議会最大会派「新政みえ」政策局長

### ◆三重県財政の現状◆

本県の平成24年度当初予算は、一般会計約6,693億円、特別会計約1,467億円、企業会計約415億円で3会計合わせると約8,576億円となっています。この内訳は、県税収入2,067億円、地方交付税1,388億円、国庫支出金695億円、県債1,346億円とその他となっています。歳出は、義務的経費が4,139億円、投資的経費が1,086億円とその他となっています。

財政の話は規模が大きすぎてイメージがつかみにくいといった声が多いことから、毎年分かりやすく一般家庭に置き換えて報告させていただいています。下記の表を参照下さい。

### 県財政を一般家庭に置き換えた場合

#### 【収入】

(単位 万円)

	平成12年度	平成22年度	備 考
給 料	367	259	県税収入、使用料、諸収入など
親からの仕送り	355	344	地方交付税、国庫補助金、臨時財政対策債など
貯金の取崩し	16	28	基金の取崩し
口 ー ン	93	68	地方債(臨時財政対策債は除く)
合 計	831	699	

#### 【支出】

生 活 費	698	579	
口 ー ン 返 済	97	96	
合 計	795	675	

口 ー ン 残 高	846	1,185	
貯 金 残 高	90	91	財政調整基金・その他特定目的基金

※10年間の生活費の推移を見ると698万円が579万円となっており、内訳は、①福祉向上（58万円⇒96万円）②犯罪・交通事故防止（40万円⇒40万円）③道路・住宅・公園などの整備（160万円⇒93万円）④農林水産業の発展（78万円⇒41万円）⑤教育・文化（194万円⇒177万円）となっています。

発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

三重県議会議員

あき よし

# いながき昭義

後援会  
会報

## Contents もくじ

- ごあいさつ
- 東欧視察報告
- 県政座談会のご案内
- 三重県財政について
- 戦略企画雇用経済常任委員会報告



ゴルナグラッドにて

時下ますますご健勝のことと拝察しお慶び申し上げます。日頃は私の政治活動に深いご理解とご協力賜り感謝申し上げます。

先日仲間たちと一緒に御在所登山を行いました。FBでネットワークが広がりこれから定期的に山登りをしたいと思います。第一回定例会閉会後東欧視察に出ましたのでその概略を記載しましたが、飛行機内でもインターネットが使える、また各国ホテルでも自由にインターネットができる時代になっています。FBを活用しリアルタイムで視察先からの報告ができる時代になったことを痛感しました。時代の変化、スピードは本当に早いものがあります。

海外に出ると他国の素晴らしさ、学ぶべき点を多く見てきますが、それと共に日本の素晴らしさ、美しさ、質の高さをあらためて実感します。魅力的な国日本を次世代までしっかりと引き継げるよう政治の責任を果たして参ります。今後ともご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣 昭義

### 県政座談会のご案内

定期的開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしく申し上げます。

9月 9日 (日) 18:30~	桜地区市民センター
9月 9日 (日) 19:30~	川島地区市民センター
9月16日 (日) 18:30~	県地区市民センター
9月16日 (日) 19:30~	三重地区市民センター

### ■ブログ「初心、継続。」

<http://ameblo.jp/dream-21>

稲垣昭義 ブログ

検索

※ブログは日々更新しています。ぜひご覧ください。

※Face Bookはじめました。こちらでも交流をお願いします。

facebook

Vol.35

# ◆戦略企画雇用経済常任委員会報告◆

## ■みえ産業振興戦略策定へ!!

本県では「みえ産業振興戦略」を策定中です。「移動する県庁」現場主義からの政策創造との副題がついているように、県内外約5,000社へのアンケート調査を実施し、1,052社訪問を実施し現場の声を聞き取り策定しています。北勢地域の産業政策を考える中で非常に重要な戦略になると考えます。

これまでの課題を整理し目指すべき姿を示し、その課題解決のため7項目の地域成長戦略が示されています。

- ①成長産業（社会的問題解決型産業）への攻めの取組…スマートアイランド構想、ライフイノベーション総合特区、高度部材産業の強化、中小企業と大企業の連携、次世代型産業コンビナートなど。
- ②戦略的な企業誘致（更なる県内投資促進への挑戦）…クリーンエネルギーバレー構想、マザー工場誘致、マイレージ制、アジアの拠点化を目指した外資系企業誘致など。
- ③ものづくり戦略（メイド・イン・三重）…ものづくり中小企業の育成、AMIC支援強化、出前商談会、海外展開促進。
- ④サービス戦略…サービス企業の価値向上、「おもてなし」による顧客志向型サービス産業の振興、グローバルビジネスの振興。
- ⑤観光の産業化戦略…観光と他分野産業の融合、コンシェルジュや場所文化を軸とした共感者づくりなど。
- ⑥海外展開戦略（国際戦略）…海外展開拠点（サポートデスク）、海外見本市出展、経済交流開拓と総領事館等との関係強化、プロモーションと誘客活動など
- ⑦振興戦略プラットフォームの構築…ネットワーク、ひとづくり、中小・小規模企業の振興方針、県研究所など

⇒知事は本会議でこの「みえ産業振興戦略」策定後、中小企業についての具体的な課題が見えてくるようなら、私が以前から提案している「小規模事業者振興条例」について考えたいと答弁されており、今後戦略策定後、新しい条例制定にも取り組みたいと考えています。

## ■中国(上海)とタイ(バンコク)に海外展開の拠点設置!!

成長著しい中国、東南アジア市場への展開を目指す県内中小企業を支援するため現地及び国内にサポートデスクを設置し、支援体制を構築いたします。今後本県の中小企業に積極的に活用される拠点になることを期待します。

## ■東京日本橋に三重をトータル的に売り込む講座開設!!

昨年、丸の内朝大学として、40名のクラスで「地域プロデューサークラス三重編」講座を開設した所、首都圏や三重県内で受講生がイベントで交流をしたり、フェイスブックなどで情報発信が盛んに行われています。本年は、新たに東京日本橋に講座を開設する予定です。更なるネットワークが拡大することを期待します。

## ■「三重の応援団(仮称)」結成!!

コアな三重県ファンにタイムリーな情報提供を行い、三重県の認知度が高まり、三重の魅力や価値を評価・共感いただける方々を増やすため、「三重の応援団(仮称)」を結成します。公募で1万人以上集まっていたいただき新たなネットワークの構築に取り組みます。



平成24年4月25日 新政みえ熊野視察



平成24年5月27日 御在所登山



平成24年6月28日 未来創造セミナー開催



平成24年6月25日 オーストラリアのミラー駐日大使と共に

# ◆東欧視察報告◆

7月1日～8日の間、新政みえの三谷代表はじめ6名の県議で東欧視察を行いました。ワルシャワ、プラハ、ツェルマットの概略を報告致します。尚詳細な報告書は私のHPに掲載しておりますので是非ご覧ください。

## ■ワルシャワ

在ポーランド日本国大使館の山中特命全権大使をはじめ、日本からポーランドに進出している企業の方々、JETRO現地スタッフの方、ポーランド政府海外投資情報庁の方々との意見交換をいただき、ポーランドと日本の経済交流の状況、今後の可能性を調査しました。

ポーランドの魅力は、2009年、リーマンショックの影響を世界各国が受けて、ヨーロッパでもすべての国がマイナス成長となる中、ポーランドのみが1.8%のプラス成長を記録しました。その後も、2010年3.9%、2011年4.3%と高い経済成長率を示し、本年も2.9%とEUで一番の伸び率が見込まれています。

EU市場とロシア市場の間という地理的優位性と高学歴で多国語を話せる優秀な人材、日本人に合う国民性は非常に魅力的であり、2000年以降日本企業の進出も進み、これまでに268社が進出し約4万人の雇用を創出しています。今後目が離せない国といえます。



ポーランド大使館 山中特命全権大使と懇談



ポーランド投資情報庁

## ■プラハ

在チェコ日本国大使館の國方特命全権大使、チェコ日本商工会の中越事務局長はじめJETRO現地スタッフの方々とチェコの政治経済情勢や日系企業の進出状況、エネルギー政策と今後の展望について意見交換をいただきました。またパナソニック工場を視察させていただきました。高橋社長と意見交換させていただきました。

ポーランドと同様にチェコのエネルギーは自国採掘の石炭による火力発電と、ロシアに依存した石油による火力発電が中心です。ポーランドには原子力発電所はありませんが（現在建設を検討中）、チェコはロシア製の老朽化した原子力発電所が2カ所（6機）あります。

非常に興味深かった話は、現在の2カ所（6機）の原子力発電所が老朽化していることから新たな建設に向けて今非常に重要な時期とのことでした。福島原発

の事故以来ヨーロッパでは最初の新規原子力発電所建設になると見込まれています。この決定がなされれば、他のヨーロッパ諸国で議論となっている新規建設について大きな影響を与えることとなり注目されています。

また受注には3社が名乗りをあげており、日米連合とフランスとロシアの間で非常に激しい駆け引きが行われており来年受注が決まる見込みとのことでした。

エネルギー安全保障は非常に重要で日本は福島原発の事故を経験し、今後どうしていくのかを世界の動きを注視し広い視野で考えていかなければいけないとあらためて感じさせられました。



パナソニックチェコ工場を視察



在チェコ日本商工会中越事務局長と懇談



世界遺産プラハの街並み

## ■ツェルマット

津市出身、ツェルマット在住で内閣府・国土交通省・農林水産省認定の観光カリスマとして活躍されている山田桂一郎氏に同行いただき「地域経営」「観光政策」を現場で体感するためジュネーブから約300キロ離れたまちツェルマットを訪問しました。ゴルナグラッドでは1907年から創業しているホテルの支配人から地域経営について話を聞かせていただきました。下山後、ツェルマットの観光局長との意見交換や電気自動車工場を視察しました。ツェルマットは電気自動車と馬車しか走ることは出来ずまたエネルギーは水力、自家発電等再生可能エネルギーで徹底的に環境にこだわっています。

「品質の高い環境都市」といった明確なビジョンがあり、人口約6,000人の小さなまちですが、ビジョンがしっかり共有され観光客のためだけでなく自分たちのために街並みを守り地域経営を行っていることを強く感じました。本県の観光政策への貴重なヒントをいただきました。



ゴルナグラッドで支配人と意見交換